

各地の状況

北海道



北海道の景況は、住宅建築が足許減少したものの、個人消費、設備投資が持ち直すなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、インバウンド需要の回復から大型小売店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少するなど、足許減少。設備投資は、観光客受入態勢強化投資や市街地再開発投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、災害復旧工事により国が増加するなど、足許増加。輸出は、平成 30 年北海道胆振東部地震による港湾施設の一部損壊の影響が残るものの、自動車ガラス原料、船舶が増加するなど、底離れ。

生産活動は、地震に伴う生産設備の復旧遅れから石油製品が減少したものの、パルプ・紙・紙加工品、電気機械が増加するなど、底離れの動き。観光は、地震の影響が解消に向かい、国内客を中心に増加するなど、持ち直し。雇用は、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、地震災害の影響が解消に向かい、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。